

2021年度自己評価報告書  
(年間反省)

学校長

自己評価について

A:十分できた B:だいたいできた C:あまりできなかった D:全くできなかった

I. 本校の建学の精神・校訓・教育目標 B

今年度も新型コロナウイルス感染症の影響を受け、全校行事は実施できなかったが、学年別報恩講の実施と宗祖御命日勤行の実施を数回行った。入学式、卒業式などにおいても簡略での実施となったが、校訓・建学の精神を伝える場となっている。

教育目標については、校訓や建学の精神と合わせて、色々な場面で校長のお話などで触れている。また宗教の授業を通じて生徒へ、宗教新聞「要」を定期的に発行し、教職員へ伝えている。

II. 中高グランドデザイン B

中高の学校案内への掲載、学校公開などで説明などを行なった。学校長方針で掲げており、年度当初に周知を図り、各部署でグランドデザインを具現化する方針立てと実践を行なうように依頼している。次年度もこれに基づき、構造化と方針立てを行なっていく。

III. 学習指導

- (1) 専門性を高め、教科指導力を向上させる B
- (2) 生徒の学習意欲を喚起できる、生きた教科指導をする B
- (3) 生徒の進路達成欲求に答えられる、受験指導能力を身につける B
- (4) 学習習慣作りのための具体的展開を実行する B

新型コロナウイルス感染症の影響によるオンライン授業対応の期間があったが、昨年の反省を踏まえ、より良い実践ができています。しかし、学習定着、実力養成においては個人差が出ていることは否めない。

私学にあっては魅力ある授業、力をつける授業を展開できることが、生き残りのための必須条件となるので、各個々人の意識を向上させ、魅力ある授業者となるためにさらなる研鑽が必要となる。朝学習、講座制、予備門などの充実により具体的な展開をしているが、中学エミネンスプログラムの充実と将来の高校へ上がっていくことを踏まえてさらにより良くしていく方を企画していかなければならない。それぞれの部署での反省の基づき、次年度の方針立てをしていく。

IV. 生徒指導 「時を守り、場を浄め、礼を正す」

- (1) 挨拶の励行 A
- (2) 清掃の充実 A
- (3) 時間の厳守 A
- (4) 規範・規定遵守の徹底 B

クラブ活動生徒を中心に、しっかりとした挨拶のできる生徒が増えている。学年集会での意識付けも行なわれており全校的に浸透してきている。朝学習の定着により遅刻等の数は少なく、日常の授業開始における時間を守る意識が高まっている。学校全体の清掃については校務の方々に依頼し、廊下・教室の床等については清掃が行き届くようになってきている。

生徒指導事項に対する対応については、停学者が多数出るなどの事態もあり、その対応については反省点をまとめ、次年度の課題としていく必要がある。報告・連絡・相談の徹底と管理職・指導部・学年・保護者の連携を怠らないことを肝に銘じていかなければならない。今年度、生徒指導上の懲戒処分があった場

合の奨学金の扱いを決定した。

V. その他として(次年度重点課題として)

- ・次年度構造化を早め、2月末までに次年度体制を発表。年間反省をまとめ、引き継ぎをし、3月からは新年度の方針立て、準備をしていく予定である。
- ・特別奨学生の継続基準を定めたので次年度より適用していく。新入生と在校生には周知徹底をする。
- ・中学新プログラム・新コース(医進)の2年目の充実にむけてあらゆる方途を策定していく。  
(矜持プログラムの企画・実行)
- ・学校行事の精選、新企画の組み立てをしていく。
- ・スクールコンプライアンスに基づいた研修会の実施。(いじめ、体罰、ハラスメント等)
- ・生徒募集、広報戦略を強化する。
- ・校長面談をできる限り実施する。
- ・校務運営組織の改善(効率化、業務の均等化)
- ・女子サッカー一部の活動開始とさらなる安定募集を目指す。
- ・中高大のさらなる連携強化をしていく。
- ・校舎補修(体育館の屋根)をする。
- ・校舎環境整備については扇風機を設置したが、クーラー設置計画を立てる。
- ・新入生の奨学金の見直しをする。
- ・修学支援制度に基づき、授業料金額の見直しをする。(2023年度入学生)
- ・クロムブックを導入に伴う、実践研究をいっていく。